



ふれあい 放水路

1999

(平成11年)

第68号

11月



湊原いきものふれあいの里

浜遊自然館

〜湊原体験学習センター〜

森と海と川に囲まれたすばらしい自然を残す大社町湊原地区に「浜遊自然館」があります。

この自然館には、近頃ではあまり見かけることのできなくなったメダカを始め、川に生息する約二十種の魚が観察できる八基の水槽や、十数種のチョウが観察できる「蝶ハウス」、体験学習ができる「ふれあい農園」と加工体験教室などがあります。

さて、上の写真で、ネックレスのようにひもを通した貝の穴、これは人工的に開けたものではなく、右側のツメタ貝が開けたものです。肉食のツメタ貝はエサとなる貝に覆いかぶさり、歯舌（酸を出す舌のようなもの）で殻に穴をあけその身を食べてしまうのです。他にも人間をも刺し殺してしまうほどの猛毒をもった貝や、生きた化石といわれる貝など、世界中の貝一万点七百種の貝の標本もここに收藏されています。

日頃お目にかかることのない生物たちとのふれあいや、たくさん緑に囲まれた憩いの場を求めに、湊原まで足を延ばしてみたいかがでしうか。

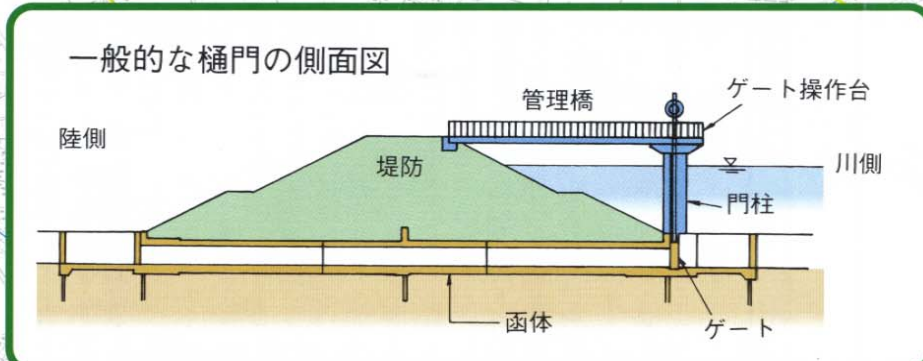
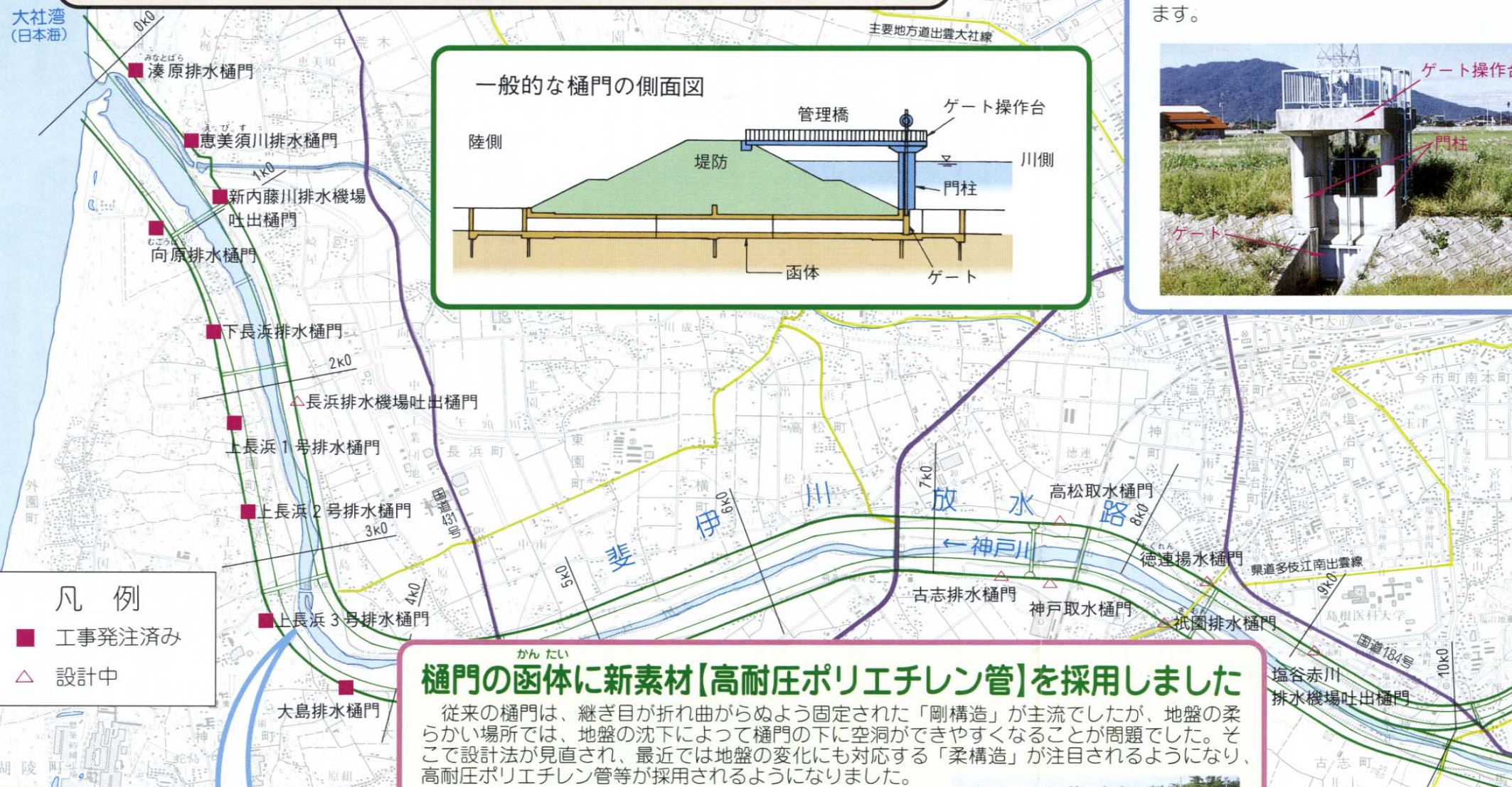
放水路の“水の番人”樋門たち

樋門の構造と働きについて紹介します

斐伊川放水路事業に伴い、樋門37基、樋管（樋門の小さいもの）63基の新設、改築が行われます。

現在、拡幅部下流部では樋門9基、国道184号の付け替えに伴い、馬木地区、朝山地区でも工事が行われています。

※現在設置予定されている拡幅部の16箇所（箇所）の樋門の位置を図示します。



“水の番人”樋門の仕事

樋門には、大きく分けて排水樋門と取水樋門の2種類があります。

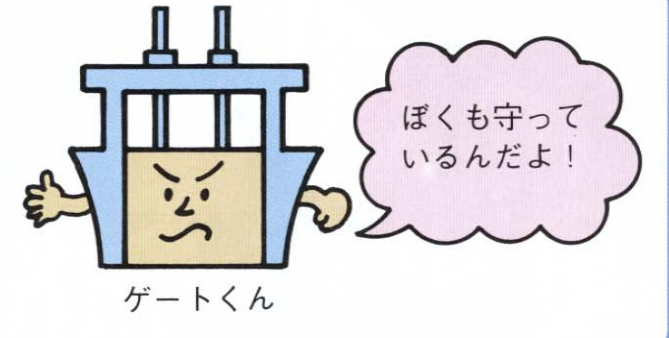
ふだん排水樋門では、雨水や排水などのいらぬ水を本川に流し、取水樋門では、私たちの生活に必要な水を本川から取り入れています。どちらも洪水が来たときには、本川から水が逆流しないようゲートを閉めて、周辺の用排水路等に水がふれ出るのを防ぐ“水の番人”の役目を果たしています。



け・ん・せ・つ豆知識

Q. 樋門と水門はどうちがうの？

A. 樋門も水門も、洪水に対してはゲートを閉めて、堤防としての役割を果たす機能は一緒ですが、樋門は堤防をトンネルのように横断するのに対し、水門は堤防を分断して設置されています。



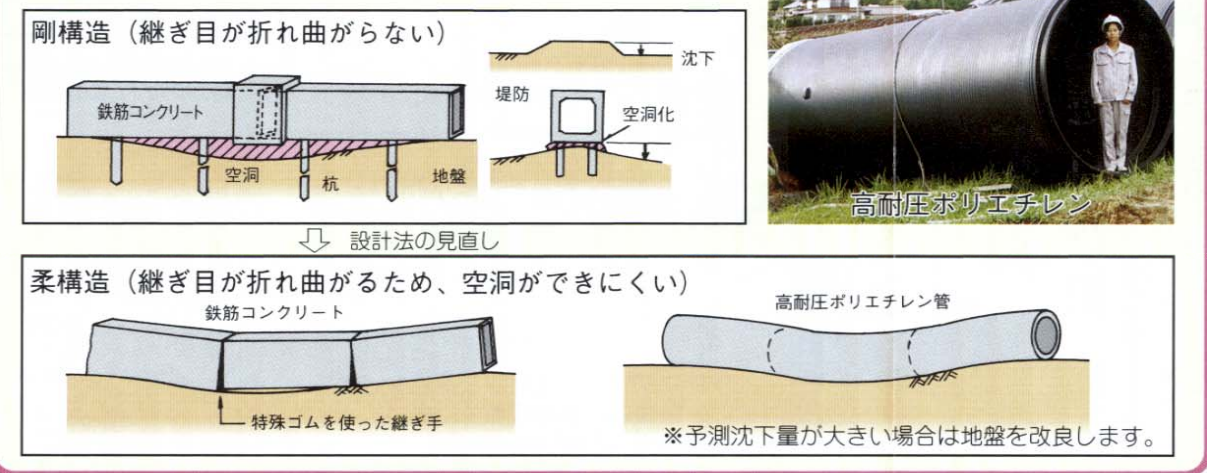
- 凡例
- 工事発注済み
 - △ 設計中

■上長浜3号排水樋門

ゲートを入れたら出来上がり!!

樋門の函体に新素材【高耐圧ポリエチレン管】を採用しました

従来の樋門は、継ぎ目が折れ曲がらぬよう固定された「剛構造」が主流でしたが、地盤の柔らかい場所では、地盤の沈下によって樋門の下に空洞ができやすくなるのが問題でした。そこで設計法が見直され、最近では地盤の変化にも対応する「柔構造」が注目されるようになり、高耐圧ポリエチレン管等が採用されるようになりました。

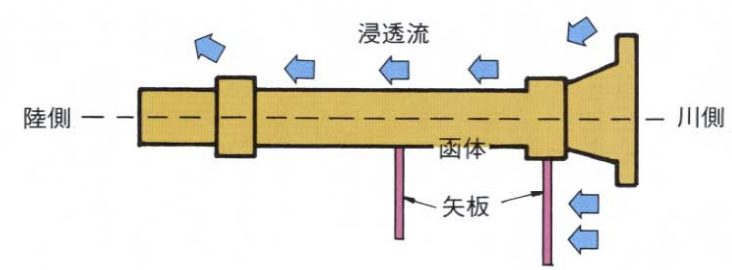


堤防の中は、どうなっているのかな？

下の写真のように、樋門の管の直角方向には、鋼製の板（矢板）が設けられています。



■矢板がない場合 川から水が浸透して函体周辺の土が流動し、堤防が弱体化します。



■矢板がある場合 矢板で水の浸透流が抑えられ、堤防は安全です。

ふれあい放水路 通信

緑豊かな街を

―都市緑化推進記念植樹祭―

十月十八日に、出雲市上塩冶町にある放水路ふれあいセンター前の広場で記念植樹祭が開催されました。

当日は出雲市長をはじめ地元代表者などの出席のもと、近くの塩冶幼稚園とえんや保育園の子供たちも参加して、斐伊川放水路工事の施工業者でつくる「斐伊川放水路安全協議会」より提供された桜(ソメイヨシノ)とケヤキの苗木、さらにパンジーの花が植えられました。

会場となった広場は、将来「半分公園」として整備される場所であり、植樹された木々や花々によって、緑あふれる憩いの場となることでしょう。



工事情報 コーナー

開通間近!! 『半分大橋』

昨年二月に工事着手した開削部の半分大橋が、いよいよ十二月三日に開通することになりました。

そこで、斐伊川・神戸川治水事業が出雲神話の「八俣の大蛇退治」にたとえられることから、開削部の新しい橋の親柱と高欄は「平成のオロチ退治」としてイメージされた造りとなります。

下に半分大橋の橋面をイメージ図で紹介します。

監視カメラを

設置しています

出雲工事事務所では斐伊川放水路事業に伴い、監視カメラを設置して工事の状況を監視しています。

現在B谷、半分、古志橋の三ヶ所に設置していますが、平成十一年度中に新たに四ヶ所に設置する予定です。

(地図参照)

このカメラ映像は、一般の方も「放水路ふれあいセンター」でご覧になれますので、気軽にお立ち寄りください。



親柱:草薙の剣と勝利の喜びをイメージ

高欄:オロチのうねりをイメージ

歩道:水たまりのできにくい自然石舗装

設置箇所

(黄色…設置済 赤…新設)



斐伊川放水路の工事实施状況 (平成11年10月以降)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 馬木堤防工事	トガノ(株)	自至 H11年10月1日 H12年3月31日
斐伊川放水路 半分掘削その2工事	(株)中筋組	自至 H11年10月1日 H12年3月31日
斐伊川放水路 C谷工事用道路工事	松江土建(株)	自至 H11年10月1日 H12年3月31日
斐伊川放水路 境橋下部工事	まるなか建設(株)	自至 H11年10月1日 H12年3月31日
斐伊川放水路 妙見橋下部その3工事	カナツ技建工業(株)	自至 H11年10月8日 H12年8月31日
斐伊川放水路 崎屋橋取付工事	トガノ(株)	自至 H11年10月8日 H12年3月31日
斐伊川放水路 馬木大橋下部工事	(株)フクダ	自至 H11年10月8日 H12年3月31日

**建設省中国地方建設局
出雲工事事務所**

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850
メールアドレス E-mail: izumo@cg.moc.go.jp
ホームページ http://www.cg.moc.go.jp/izumo/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路工事業 事業対策官